

未来を切り拓く本物の力

片桐英数塾通信

頭で、心で、体で

「考える力」を鍛え上げる。

あけましておめでとございませう。今年も何卒宜しくお願ひ申し上げます。

最近、高三生の顔を見て、「成長するもんだなあ」と感心しております。「他人事みたいに言わんといてよ」とお叱りを受けてしまふのどうとは思いつつ、やはり、何かに全力で集中している人の放つパワーは、その人の人となりまでも大きく成長させるんだなあ、と、一人勝手に目を熱くさせております。自分ではあまり気付かないかもしれないけど、みんな、半年前とは別人のように成長しています。自信を持って、受験に挑んで下さい。きっと大丈夫です。



「ならず、焦らず、くじけず、負けず、残された時間を全力で頑張ってください。残りの時間をいかに勉強だけに集中する」とができるか。これが受験におけるラストスパート・ジャンプアップの秘訣だと思ひます。苦しいけど頑張れ!

そして、他の学年の人。特に高2生。とうとう「変化の年」が始まります。これまでの基準は、もう過去のものです。絶対的に必要な行動は、自分の志望校、もしくはターゲット校を早く決め、受験科目を確認し、そして少しでも早く動き始めることです。それができていないと受験では間違いなく例年以上に不利になります。みんな、もう分かっているように、観一祭が終わったくらいから、受験に向けて動き出した人が多かったようですが、まだだのんびり構えている人がいたら、その人は、今すぐに動き始めて下さい。そして、高2生はこの一月に行われるセンター試験を必ず解き、そのレベルの高さ、今の自分の力の乖離幅を体感しておいて下さい。高2生の大学受験はもう既に始まっています。まずは、三月までに、高一・高2の基礎事項の見直しを終えておくことが大事だと思います。それと、高2生

だけに、高1生、中学生、全ての学年に「変化の波」がドドンと押し寄せます。気持ちを引き締めてこの一年に向かいましょう。

「考える力」を付けるには、本物の意味での「考える力」が必要だと思ひます。「考える力」というと、テストでの点、順番、偏差値を想像してしまうかも知れませんが、もっと根本のところにある力で、そういった表裏の数値の向こう側にある力です。

では、「考える」って、とについて書きます。「考える」には言葉が必要で、上手に言葉を使ってこそ、考えの筋道をはっきりさせることができるので、キチンと物事が考えられます。それを「論理的思考」という言い方をすることもあります。自分の頭で考え出すだけでなく、相手の考えを正確に理解するにも論理的な考え方がとても大事になります。建物の全体を見る時、ちょっと下がって見ると似ていて、論理的に人の考えを見るにもちょっと下がったところから「客観的」に全体を見ることが必要です。「考え」も骨組みでできているので、全体から構造をつかむ必要があります。しかし、国際的にはさらに進んでいて、「客観的」に捉えたものをさらに踏み込み「批判的」な読み方・考え方をすることが求められているようです。人のことを批判するなんて良心的にどうなの？ってことになりがちですが、批判し合うというのではなく、本判に相手のことを正確に理解するには、「何が言いたいのか？」と要点毎に質問してみなければならず、そのことを批判と言っているのだと解釈すれば少しは納得できよう

かと思ひます。とても立派な人の話を聞いて、批判的なのは失礼だと思ひ、「いや、うんやから間違いないやないや」と正しいもんだと決め付け、何にも考えずに、感動していただけでは、やっぱり駄目です。やはり、話の骨組みを見極め、要点について吟味しようとする姿勢が大切で、それが「考える力」を強めていくのだと思ひます。

それと「考える力」を強くしようとするれば、特定の分野に限らず、考える材料や道具を幅広くたくさん持つておくことが大事だと思ひます。全く関係の無さそうな知識同士が頭の中で勝手に結びついて、相乗的に理解を深め合うことがあるように、専門外のことでも、知っていれば役に立つことが多いと思ひます。「止まってる物は何かやせんとなんぼでも止まってるままで、動つきよる物は何かやせんかったら、そのまま真つすぐなんぼでもダラッって行く」という「慣性の法則」を学んだ時、「あ、人間と一緒に」と、逆に人間の性に納得してしまつた……ん？これは違つたか……ま、とにかく、頭の中では数学が国語や英語の役に立ったり、物理が人間を理解するのに役に立ったり、英語が国語の役に立ったり、何が何の役に立つのか分からんもんです。文系だから数学いらん、というお決まりのパターンが毎年あるのですが、受験を楽にしよう、気持ちを楽にしようとしてだけのことならば、それは、正直、もつたないような気がします。それと、先では、今の縦割りの教科が、横に繋がった感じになります。例えば、文系学部は経済学部で言うと、主要な理論は、実は数学者が作ったものによるところが大きく、深めれば恐ろしくかなり高度

な数学が要求されるでしょうし、現実の経済の動きを考えるには大衆心理を知るための心理学の知識も必要だろうし、法治国家内において経済活動を営む上では法律の知識が無ければならぬだろうし、いやいや、歴史も知らないといけないだろうし……何事にもいろんな見地・角度から考えられるだけの幅広い知識・考え方が大切になってくると思ひます。

「考える」って頭だけの仕事なのか？という、心が折れれば考える気もしないし、体を使って書いたり読んだりして、初めて理解できる事だつてあるし、「考える力」は頭だけじゃなく、心、体の三位一体の力なんだと思ひます。「考える力」を鍛えるには、頭だけを鍛えるのではなく、心、体も鍛えなくてはならないと思ひます。そのためには、頭や心や体がヘトヘトになるまで一生懸命に物事に取り組みることが必要だと思ひます。

今年一年、何事にも全力で取り組み、ヘトヘトになって、「考える力」を鍛えてください。未来に繋がる良い一年にしていきましょう。

「考える」って頭だけの仕事なのか？という、心が折れれば考える気もしないし、体を使って書いたり読んだりして、初めて理解できる事だつてあるし、「考える力」は頭だけじゃなく、心、体の三位一体の力なんだと思ひます。「考える力」を鍛えるには、頭だけを鍛えるのではなく、心、体も鍛えなくてはならないと思ひます。そのためには、頭や心や体がヘトヘトになるまで一生懸命に物事に取り組みることが必要だと思ひます。

かと思ひます。とても立派な人の話を聞いて、批判的なのは失礼だと思ひ、「いや、うんやから間違いないやないや」と正しいもんだと決め付け、何にも考えずに、感動していただけでは、やっぱり駄目です。やはり、話の骨組みを見極め、要点について吟味しようとする姿勢が大切で、それが「考える力」を強めていくのだと思ひます。



河合サテライトネットワーク校
全統模試実施校
坂本教室 OFFICE
TEL 24-1337
FAX 82-6185
天神教室
TEL 23-1899
E-mail
info@katagirijuku.com

センターに挑戦！！
高2生の皆さん、一年早く本番入試を体験してみよう！
1月16日(日)午後1時半～ 国語・英語
23日(日)午後1時～ リスニング・数学
《場所》坂本教室 《参加費》無料
※解説放映のみの参加も可能です。参加希望者は、1月13日(木)までに申込書を提出してください。

金統高1・高2記述模試
1月30日(日)実施
申込締切日 1月13日(木) 受験料 3,200円
※受験希望者は、受験料を添えて坂本教室で申込んでください。

お車での送迎について
お迎え時の車の混雑について、保護者の皆様にご理解とご協力をお願い致します。お迎えの際には、駐車場内での安全走行、エンジン停止にご協力いただくとともに、ご近所出入口などでの路上待機、他の駐車場の無断使用などは、ご遠慮いただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

坂本教室からのお知らせ
※ 坂本教室の1月の休日は、
1日(土) 2日(日) 9日(日) 16日(日)
23日(日) 30日(日)です。
※ 模試実施日は10時～15時まで
自習可能です。
メールでの連絡はこちらまで！
info@katagirijuku.com
携帯アドレス！
katagirijuku@docomo.ne.jp

金統高1・高2記述模試
1月30日(日)実施
申込締切日 1月13日(木) 受験料 3,200円
※受験希望者は、受験料を添えて坂本教室で申込んでください。

お車での送迎について
お迎え時の車の混雑について、保護者の皆様にご理解とご協力をお願い致します。お迎えの際には、駐車場内での安全走行、エンジン停止にご協力いただくとともに、ご近所出入口などでの路上待機、他の駐車場の無断使用などは、ご遠慮いただきますよう、重ねてお願い申し上げます。